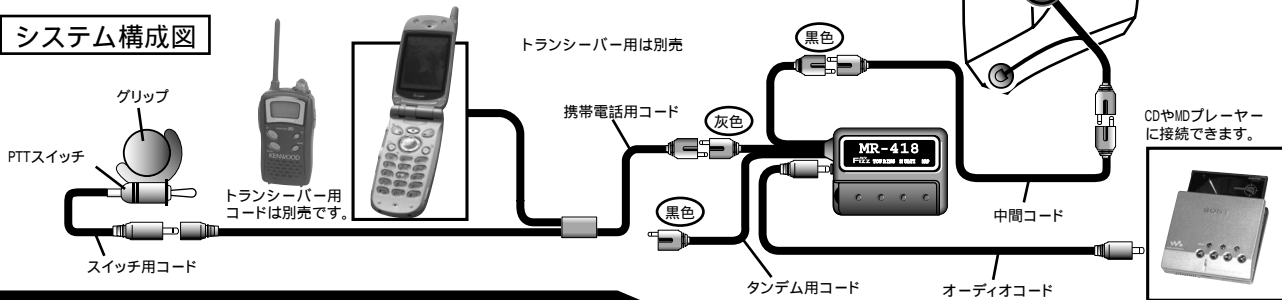
MR-418
ツーリングマルチアンプ 取扱説明書

（この説明書は、必ず保証書と共に大切に保管しておいてください。）

システム構成図

1. マイク、スピーカー、マイクカウルの取り付け

マイクの取り付け方

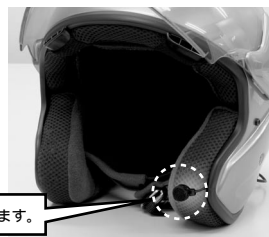
●フルフェイス型

ヘルメットの内側、口元付近にマイク用ベルクロテープを使って取りつけます。（取り外すことが無い場合は両面テープでも可。）

内側の口元あたりにマイクを取り付けます。

●ジェット型（マイクカウルを使用しない場合）

頬パットの付近にマイク用ベルクロテープを使って取り付けます。
※この場合、実用範囲は60km/h程度になります）
より高速走行をされる方はマイクカウルを使用してください。

⚠注 意 実用速度域は参考です。速度は向かい風やシールド等の条件により異なります。

口元に近い所に取り付けます。

●ジェット型（マイクカウル使用）

※基本的には左右どちらでも取り付けられますが、シールデザインは左用のみとなっています。
- マイクカウルの先端が口元に来る良い位置を決めて、写真の様にヘルメットのパッド（内装）を起こし、ベルクロテープを使用して装着します。
- マイクをマイクカウルにはめ込みます。
- マイクカウルの先端（マイク部）が口元より1～2cm位に来るようにします。

参 考 マイクカウル自体は衝撃時等に脱落や緩衝効果の為、ベルクロテープによる固定となっていますが、帽体の材質や内装の材質より、固定が不安定な場合は両面テープを併せて使用してください。

⚠注 意 マイクカウルのステー部はアルミ素材のため、繰り返し曲げたり、必要以上の角度に曲げたりするのはお避けください。またクラック等が発生した場合は速やかにお取替えください。
- 品番　MR-E5　マイクカウルをお求めください。

頬部のパッドをめくって、シェル（帽体）との間に取り付けます。

マイクカウル用ベルクロ（オス）をマイクカウルのアルミ部に貼ります。

マイクカウル用ベルクロ（メス）を帽体側に貼ります。

●取り付ける前に全体を少し曲げておきます。

マイクをリブにはめ込みます。

コードをはめます

※マイクを外さない場合は両面テープで固定します。

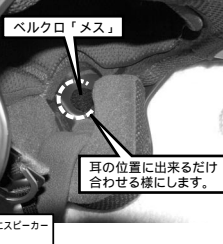
●マイクの取り付け方。

●マイク部分が口元に来るように調整し、ベルクロでしっかり固定します。安定が悪い場合は反対側を両面テープで固定します。
※シールドを閉めた時に干渉せず、内側に収まるようにします。

スピーカーの取り付け方

ヘルメットの耳が当たる部分の凹み部分に、ベルクロテープで貼付けます。ヘルメット側は「メス」スピーカー側は「オス」のベルクロテープを貼ります。
●内装の状況に合わせて両面テープで取り付けてもかまいません。

参 考 スピーカーの取り付け位置は出来るだけ耳の中心と合わせると効率が落ちません。

スピーカー用ベルクロ「オス」

ベルクロ「メス」

耳の位置に出来るだけ合わせる様にします。

この凹み部分にスピーカーを装着します。

コードの取り回し方

●左右のホルダー間で巻き付けて余りのコードを処理します。

- ●コードホルダーをヘルメットの左右後ろ寄りの位置に予め貼っておきます。
- ●マイク、スピーカーのコードは、出来るだけ内装の内側を通して、コードホルダーの近くからヘルメットの外に出します。
- ●コードが引っ張られても外れにくいように、コードホルダーにひと巻きしておきます。
- ●使用しない時のコードは、左右のコードホルダーに巻きつけておきます。

⚠注 意 再塗装のヘルメット等で塗装の定着が悪い物は、コードホルダーの粘着部をはがす際に、部分的に塗装をはがす恐れがあります。

2. 使用方法

本体各部の操作方法

●本体のボリュームを右に回すと（上げ過ぎに注意）パワーONとなり、その状態で使用可能になります。
●使い終わりましたら、必ずボリュームを左に回しきり、スイッチをOFFにしてください。

⚠警 告 音量を大きくし過ぎないでください。耳に障害が出る恐れがありますので、長時間の使用は避け、1時間毎に休むようにしてください。また、外部の音（サイレンや警告音）が聞こえる程度の設定にしてください。

⚠注 意 コードは運転に支障が無いよう取り回すこと。
コードが濡れた場合にはコネクター部に水が残らないように良くふき取ること。

●パワーランプ
ONの時に点灯。

●ボリューム
左に回し切るとOFF
右に回すと音が大きくなります。
※上げ過ぎに注意!

●オーディオコード接続口
オーディオコードを接続します。

●パワーランプの点灯が不安定になったり、受信状況が不安定になって来たら電池の入れ替え時期です。

電池の入れ方（交換方法）

本体裏側の電池蓋を軽く押しながら手前にスライドさせて開けます。単三電池二本を、ケース内の刻印に従ってセットします。
蓋をスライドさせてはめます。

※単三電池×2本は別売です。

⚠注 意 長時間使用しない時は電池を抜いてください。また、容量の異なる電池の組み合わせは避けてください。液漏れ等の原因になります。

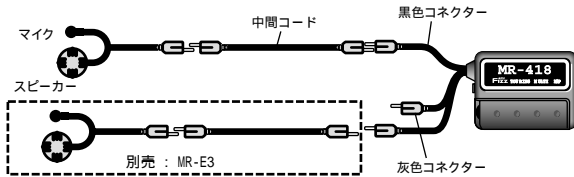
クリップの取り付け・取り外し

●はめ方
クリップの曲がりの無い方を本体に差込、本体側の突起がクリップ側の穴にはまるまで押し込みます。
●はずし方
細めのドライバー（マイナス）等を金具の下に差込み、突起部をはずす様にクリップの端をめくりあげながら、押し出してください。

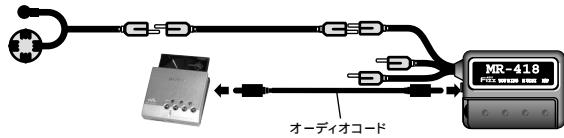
●クリップの取り付けは3方向選べます。

●クリップの外し方

タンデム通話の使い方

・パッセンジャー用のマイク・スピーカーコードは付属されておりません。オプションパーツの「MR-E3」を別途ご用意ください。
・本体から出ている、黒色のコネクターにマイク・スピーカーコードをつなぎます。（ドライバー、パッセンジャーの区別はありません）
・同時通話なので、スイッチ（ボリューム）を入れれば、そのまま自然な話ができます。
・同時にマイクカウル（MR-E5）の使用もおすすめします。

オーディオの使い方

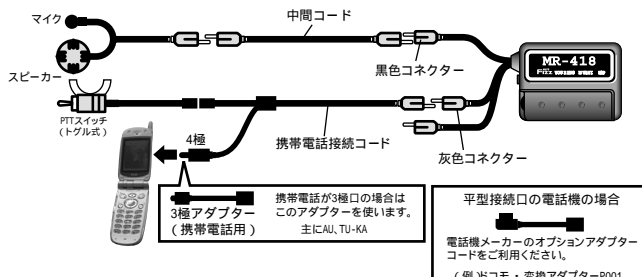
・お手持ちのポータブルCDやMDプレーヤーなどの出力口から、付属のオーディオコードを使って本体の入力口（IN）に つなぎます。
・音楽は運転者、パッセンジャー共に聞こえます。（選択は出来ません）
・音楽を聴いている途中で、携帯電話を受信すると音楽は減音されます。

注 意 基本的な音量はオーディオ機器で行っておきます。本器の電源を入れないと、音楽は聴けません。

携帯電話の使い方

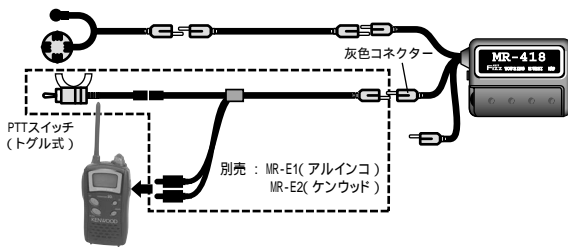
・付属の「携帯電話接続コード」を本体から出ている「**灰色**」のコネクターに接続します。電話機側の接続部が3極の場合は付属のアダプターを使用します。
・PTTスイッチ部分の取付け方は下の「PTTスイッチの付け方」を参考にしてください。
・電話機側のセッティングをします。
　○マナーモードの解除
　○受話音量を大きくしておきます
　○自動着信をONかOFFかを確認します
・電話がかかって来た場合、電話機が自動着信の設定ではそのまま、OFFの場合はPTTスイッチを長押しすると受信できます。
※PTTで操作できるのは、スイッチ付きイヤホンマイクに対応できる電話機種に限られます。
・会話終了後、電話機側の設定により自動でOFFするか、出来ない場合は再度PTTスイッチを長押しすれば切れます。
・受話はライダー、パッセンジャー共に可能です。（選択は出来ません）

注 意 必ず走り出す前に動作、音量等の確認をしてください。

●使い方の手順

※長押し ・ 約2秒程度

トランシーバー（特定小電力型）の使い方

・ 接続コードは付属されておりません。別途ご用意ください。（トランシーバーの種類によってケンウッド用とアルインコ、アイコム用があります。）
・ 本体から出ている「灰色」のコネクターに接続します。
・ PTTスイッチ部分の取付け方は「PTTスイッチの付け方」を参考にしてください。

注 意 トランシーバーは同周波数が設定出来るもの同士でないと会話できません。

PTTスイッチの取り付け方

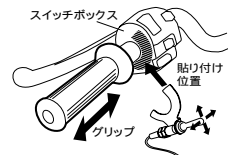
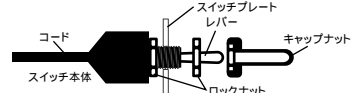
・スイッチプレートにスイッチプレート用のテープ（両面テープ）を貼ります。

・スイッチプレートにPTTスイッチを取り付けます。ロックナットで固定した後、キャップナットを取り付けます。

スイッチプレート
レバー
コード
キャップナット
スイッチ本体
ロックナット

・ハンドルの左（クラッチ側）のスイッチボックス側面に貼付けます。（親指で操作できる位置）

●他の操作ボタンの動作にじゃまにならない位置に固定してください。
●スイッチのレバーは片側ロック、片側リターンの両方が使えるタイプとなっていますので、操作しやすい向きに回転させてから固定します。
●グリップを抜いて作業を行った方がやりやすい場合もあります。
●貼り付け面の汚れや油分をよく拭き取ってから貼り付けてください。粘着力は24時間後に安定します。それまでは負荷をかけないでください。

注 意 貼り付け面の汚れや油分はよくとること。貼ってから24時間は負荷をかけないこと。

●スイッチの操作方向は上下または左右でお好みの方向に固定してください。
●コードは結束バンドを使用してハンドルに固定します。

3. オプションパーツの紹介

	品 番	部 品 名	数 量	価 格
1	MR-E1	トランシーバー用アダプターコード 〔 アルインコ・アイコム 〕（PTTコード・スイッチプレート付き）	1セット	¥8,300
2	MR-E2	トランシーバー用アダプターコード 〔 ケンウッド 〕（PTTコード・スイッチプレート付き）	1セット	¥8,300

	品 番	部 品 名	数 量	価 格
3	MR-E3	マイク、スピーカーコード（中間コード付）	1本	¥5,000
4	MR-E4	オーディオコード	1本	¥1,000
5	MR-E5	マイクカウル	1個	¥1,500

4. Q&A　故障かな？と思ったらまず確認！

●通話が出来ない
・ ボリュームがONになっていない。
・ ジャック部の接点が接触していない。または、接点が汚れている。（接点を挿しなおすか、清浄してみてください）
・ 電池の残量が無い。接続する側の機器についても確認してください。（電池交換）
・ 電池の＋と－が逆。または、電池がうまく収まっていない。
・ コード途中のコネクターがしっかり接続されていない。
・ 電源ランプがついていて、接続もしっかり付いている場合は、コードの内部断線が考えられます。（通電チェックの必要があります。パーツ交換か修理依頼が必要です）

●音楽が聞こえない
・ ボリュームが大きくなっていない。
・ MD,CD側のスイッチやボリュームの設定が適切でない、または動いていない。（オーディオ側の取扱い説明書を確認してください）
・ オーディオコードが適切でない（接続ピンの接点形状など）

●聞こえる音が小さい
・ 電池の残量が無い（電池交換）
・ スピーカーの位置が耳の位置と合っていない。（位置の確認または、内装（パッド）の上に取り付ける。）
・ 相手のマイク位置の条件が悪い（位置を変えて、付け直ししてみる）

●雑音が激しい
・ 風切音が大きい。
　マイク位置の変更やマイクカウルを使用する。
　100km/h以上になるとヘルメット周辺の風切音は一段と大きくなります。
・声を拾わない。
　マイクの位置が適切でなく、直接風が当たるようなところは避けてください。
　ジェット型ヘルメットの場合は出来るだけマイクカウルを使用し、口元にマイクが来るようにセッティングしてください。
・電波障害
　特定の場所や近くで強い電波を使用している場合などは電波に障害が出る場合があります。一時的なものであれば故障ではありません。
・接点不良
　接点が汚れている、酸化している場合にも雑音になることがあります。接点部分を拭いてみてください。
・トランシーバーを使用の場合はトランシーバー側の設定を確認してください。

●着信出来ない
・携帯電話がスイッチ付きイヤホーンマイクがオプション設定されている機種かどうか確認して下さい。
　設定されていない機種の場合は、自動着信か、ボタン操作にて着信します。

5. 保証、修理等について

お問い合わせの前にQ&Aで確認をしてください。
修理、メンテナンス、お問い合わせは右記にお願いします。

タナックス株式会社　サービス部　受付時間：月～金 9:00～18:00
〒270-0151　千葉県流山市後平井107-3　TEL:04-7150-2450
TANAX